

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	小学校空気調和設備設置事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
		予算科目	10 款 2 項 3 目	事業番号	4339	所属長名	佐々木正孝
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	向井大昌	
法令根拠等	ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金				実施期間	【開始】	令和/平成 30 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 学校教育環境の整備・充実					【終了】	令和 1 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	児童の体調管理に寄与する						
事業の対象	市内小学校		事業の目的	伊予市内の市立小学校に空気調和設備を設置することにより、平成30年度の災害ともいえる猛暑に起因する健康被害の発生状況を踏まえ、早期に子供たちの安全と健康を守るため、熱中症対策として空気調和設備の整備をする。			
事業の内容 (整備内容)	設置教室数：小学校9校 153室 事業方式：本事業を実施する業者が、空気調和設備の設計業務、施工業務、工事監理業務を行った後、速やかに市に引渡し、事業期間を通じて事業者が維持管理業務を行うDBO (Design-Build-Operate) 方式とする。		昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	60	430,700	0	0	0	428,208	空気調和設備設置完了学校数	校	0	9	0	9
国庫支出金	0	0	0	0	0	90,768						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	406,300	0	0	0	317,700						
その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	60	24,400	0	0	0	19,740						
職員の人工(にんく)数	0.50	0.30				0.30						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	4,051	433,098				430,606						
主な実施主体	学校教育課		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料(国庫支出金・地方債・一般財源)							
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					-	-	-	-	-	0		
成果指標	指標	空気調和設備事業契約学校数(30年度) 空気調和設備設置完了学校数(31年度)			単位	区分年度	前年度	1年度	-年度	目標	1年度	
					校	目標	9	9	-	9		
	指標設定の考え方	繰越事業であるため、今年度中の事業完了。			⇒	実績	9	9	-	9		
	指標で表せない効果	災害時の避難所として、安定した環境を提供できる。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		進行状況に遅れないか、常にチェックすること。学校現場の意向やスケジュールに気を配り事業を進めること。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	毎月の工程会議で、問題がないかチェックする事を怠らないよう気を配り、問題を未然に防ぐよう受注業者とよく相談し、問題なく完了することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に於いておらず、見直しが必要である。	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与しない、民間や市民団体に委ねるべきである。	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	5						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	1						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多大である。	5						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5							
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	5							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性 所屬長の課題認識	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input checked="" type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 空調設備設置工事は完了したため。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に於いておらず、見直しが必要である。	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与しない、民間や市民団体に委ねるべきである。	5						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	5							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	1							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多大である。	5							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5								
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	5								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		